



2026年メーデー

札幌パートユニオン機関紙

発行：札幌パートユニオン

〒060-0004

札幌市中央区北4条西12丁目1-11
ほくろうビル4階

TEL; 011-210-1200 FAX; 011-206-4400

E-mail; spk-chiku-union

@mse.biglobe.ne.jp

url : <http://spk-chiku-union.jp/>

陽だまり

No.209

発行日：2026年6月6日

～「第97回全道メーデー」開催～

『全国ユニオン北海道地方連合会』として結集！

5月1日、連合北海道主催の第97回全道メーデーが大通西8丁目を主会場に午前9時30分から開催されました。昨年末に連合北海道へ産別加盟の全国ユニオン北海道地連は札幌地区ユニオン・札幌パートユニオン・札幌国際観光労働組合他、3単組と共に出席しました。

11時の行進開始時には民間単組中心の第一梯団に参列しました。メイン舞台は例年より小ぶりな感じでした。よく見ると前年まで登壇していた国会議員の殆どがいなかったためでした。労働者の祭典なので、今春闘に奮闘する地場中小労組が登壇し世論を喝破してもよいのにと感じます。

メーデーの舞台を労働組合員で埋め尽くすように頑張らなくてはと念じたメーデーでした。



デモ行進終了後には、特別研修・交流会をやりました。

例年通り、午後から特別研修交流会をほくろうビル内で開催しました。今回のテーマは「チェルノブイリ原発事故、隠された“真実”」です。放射能汚染地の掃除・撤去にゴムカッパと簡易マスクで立ち向かう労働者の姿に、怖さと悲しさを覚える、経済的に貧しくなっても危険な原発は不要と言い切る覚悟が必要、等々多様な意見が出ました。組合員の皆様、ご苦労様でした。

とろで一言

全道メーデーに先立って東京で催された「第97回連合中央メーデー大会」

では、「式典中の禁止行為」として「登壇者への野次・誹謗中傷（プラカード・横断幕等を含む）」という通達がなされたようです。来賓として登壇する政府要人及び政党要人への配慮なのでしょう。だとしても、労働法制改悪を明言し、経済効果優先の武器輸出解禁及び米国村度の憲法改悪等、安心と平和毀損への行動を悪びれることなく押し切ろうとする為政者に「黙して迎えろ」とはならないのではないかと強く思います。これに対し全国ユニオンは「意見書」を4月24日付で連合中央へ提出しました。（なお、「意見書」はHPを参照願います。）

※ 以上、HPより抜粋し、再編集しました。（幹事：N）

＝札幌パートユニオン第42回定期総会・札幌地区ユニオン第28回定期総会を開催＝
前期活動報告・決算とともに、新年度の活動方針・予算並びに役員体制を全体で確認！

札幌パートユニオンは4月11日、ホテルポールスター札幌で第42回定期総会を開催しました。

冒頭、大木会長は「トランプ大統領による、イランへの軍事攻撃」について、「労働組合として断固反対の声を挙げたい」としました。

そして「“戦争前夜”とも言われる今だからこそ、反戦・平和の取り組みを続けていきたい。組合内で論議をしていきましょう」と呼びかけました。

その後、昨期の総括と今季の方針（案）が提起されました。

中でも特に高市内閣が企む改憲、労働法制の改悪並びに労働者の生活を犠牲にしてでも武器輸出を可能とせんとする動きは全く許せるものではありません。そして、労働法制の改悪を前提とした経済政策を進めようとする財界の対応にも、最大限の注意を喚起しなければなりません。加えて、最賃引き上げ・生活可能な労働諸条件き上げ及び政治方針等を含めたこれらの活動方針が、山本事務局長より提案され、何れも満場一致で可決されました。



札幌パートユニオン第42回定期総会

「札幌パートユニオン第42回定期総会」に引き続き、「札幌地区ユニオン第28回定期総会を開催



札幌地区ユニオン第28回定期総会

参加組合員は、引き続き開催された、札幌地区ユニオン第28回定期総会に参加しました。

冒頭、小林代表が新聞記事を引用し「資源を奪い合う戦争が始まり、インフレが進み、資本主義の弊害がむき出しになった。“強者総取り”みたいな世界になりつつある。現場で働く労働者の労働条件の維持・向上ばかりでなく、労働者が100%幸福を感じられる社会を目指して活動していかなければならない」と檄を飛ばしました。

山本書記長による方針提案では、札幌地区ユニオンが地場中小職場で働く労働者の悩み・不安を受け止める「拠り所」となるべきことや、理不尽なハラスメント被害をなくし、働き続けることをサポートできる組織力の育成等が提案されました。

本総会では政治方針を含む5つの議案が提案され、政治方針案では、このたびの解散・総選挙に絡む「中道」事件を「中央工ゴ」と指摘し、今後の選挙闘争の連携先は日々の議論の中で一から検討するものとししました。

提案された議案は13単組・30名の代議員による満場一致の承認のもと採択されました。

「定期総会」終了後「全国ユニオン・関口事務局長を迎えて、記念講演を開催

札幌パートユニオン並びに札幌地区ユニオンの定期総会終了後、全国ユニオンの関口事務局長を講師に迎えて記念講演を開催しました。

演題は「フリーランスの労働環境・実態・法対応・組織化の状況 ～労働組合に求められること～」とし、全国ユニオン・東京ユニオンで実際に取り組む事案等をベースに、働き方のポイント・契約の特異性・労働者性等について解説して頂きました。

北海道では、まだ取り組み事案もそう多くはなく相談対応も稀です。ただ、従事する労働者数は確実に増加していることから、早急な対策の検討は必要になるものと感じました。

講演会の後、会場を移動して「懇親会」を催しました。それぞれの職場での苦闘など、普段は聞くことが出来ない貴重な意見など聞くことが出来ました。

参加組合員の皆さん、大変ご苦勞様でした。

(文責：幹事N)



「記念講演」の演壇に立つ全国ユニオン関口達矢事務局長

「2026春闘勝利！石狩地域地場未解決組合 解決促進集会」へ参加

4月23日、連合石狩地協・札幌地区連合会は市内中央区ホテルで「2026春闘勝利！石狩地域地場未解決組合 解決促進集会」を開催しました。

冒頭、連合石狩地協吉田会長は連合総掛りで地域相場を持ち上げ、魅力ある地域・生きがいを実感するまちづくりに取り組もうと檄を飛ばしました。また、来賓の連合北海道須間会長は、連合春闘の命題である「格差解消」実現には地場中小労組の頑張りが欠かせないとし、今日までの経過を維持しガンバローとしました。

石狩地域闘争委員会報告では妥結組合の加重平均金額13,306円（定昇・ベア込み）は、昨年を1568円上回ると報告があり、今後の交渉へ引き継ぎたいとしました。各構成組織からは札幌地区ユニオン北海道ウイメンズ・ユニオン近藤執行委員長、UAゼンセン北海道支部浅山次長及び運輸労連全日通労働組合札幌エリア支部宮崎書記長が登壇し取り組み状況を報告しました。

北海道ウイメンズ・ユニオン近藤執行委員長は、職場のハラスメント・処遇差別被害者の多くは女性労働者であり、是非職場取り組みの重点項目として欲しいと呼びかけました。本集会には組合員等約300名が参加し、今後の取り組みに一層の勢力傾注を確認するため、吉田会長の発声で団結ガンバローを三唱し散開としました。札幌地区ユニオンからは本集会に小林代表、札幌パートユニオン大木会長ほか11名が参加しました。

（※以上、HPより転載。）

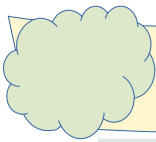


団結ガンバロー三唱で26春闘の要求貫徹・格差解消・均等処遇実現を確認！

職場取り組みの重点課題にハラスメント被害・処遇格差撤廃を！と訴える近藤委員長



熱気があふれる会場の様子。連合北海道の須間会長の発言に参加者全員が集中。



労働弁護団北海道ブロック主催 「労働時間規制緩和に対峙するための学習会」に参加

労働弁護団本部事務局長が来札。労働法制改悪を許さない取り組みを進める!

高市首相は、自民党総裁選出後のあいさつで、「私自身もワークライフバランスという言葉捨てます。働いて、働いて、働いて、働いてまいります。」と発言。首相に就任するや、上野厚労相に労働時間規制の緩和の検討を行うよう指示して以降、労働組合関係者を排除した「日本成長戦略会議」なるものを全面におしたて、実質的な論議は完全に無視する形で、労働時間規制の改悪が進められようとしています。

今回の学習会では、この間の論議を振り返ることで“高市政権樹立”以後、より一層“専政的な”一方的になされようとしていることが浮き彫りになった、と思いました。実際、「日本成長戦略会議・労働市場改革分科会」委員の伊藤仁委員（日本商工会議所専務理事）は“過労死ラインそっちのけ”で「…時間外労働が45時間を超えた場合に（労働基準監督署の）過度な指導が企業活動を萎縮させているとの声がある…」などと、“高市首相の威を借りて”、平気で発言しているのです。

衆議院での“圧倒的多数派の力”をバックに“論議してますよ”という格好だけ装い、その実は力づくで押し通そうとしているのが現実なのだ、あらためて恐ろしさを体感せざるを得ませんでした。

そればかりではありません。法的な根拠を成立させる前に「国家情報会議」を強引に設置したあとには、すぐさま「国旗損壊罪」の創設に取り掛かってもいます。私は、今回の学習会での話を聞いていて「労働法の改悪を実現する過程において、このような高市政権の暴力に対する反対の闘いをつくる拠点としての労働組合の“基盤”そのものを破壊し、“息の根を止める”ことが策されているのではないか」との感想を強くしました。あらためて労働組合の闘う力を、早急に再構築していかねばと思う次第です。
(文責：幹事N)

6月27日(土) 札幌パートユニオン第42期第1回定例学習会 & 札幌地区ユニオン第28期第1回組織研修会、やります!

- 日時：6月27日(土)；14時より。 場所；ほくろうビル内会議室。
- テーマ；「高市政権の労働法制を斬る！」(仮題)
- ※ 上記に掲載されている、5月14日に行われた「労働弁護団北海道ブロック主催の学習会」の内容に関連する学習会です。
- ※ 学習会準備の都合上、事前申し込みをお願いします。「参加要請書」並びに「参加報告書」を別途メール添付(または書面で送付)しますので、是非参照し参加されることを呼びかけます。

▶▶▶▶ <労働弁護団 北海道ブロック>との共闘で、学習会やります! ◀◀◀◀

- テーマ；「いま、労働組合が社会のために闘う意義～なぜ人権・平和への投資があなたの給料を守るのか～」
- ・日時；6月8日(月)、18時～19時30分。
- ・場所；北海道高等学校教職員センター 4階大会議室。
- ・講師；加藤丈晴弁護士、池田賢太弁護士、竹信航介弁護士(コーディネーター)。(※ 鼎談討論方式)
- ・開催方法；集合方式とZOOM参加のハイブリッド方式。(※ 集合方式推奨)

|| 編集後記 ||

「時は来た」——高市首相は4月の自民党大会で憲法改正への決意を語った。そして改憲の具体的なスケジュールについて「改正の発議にメドが立ったと言える状態」で来年の党大会を迎えたい」とまで言っていた。実にそれが、目の前に来ているのではないかと感じ、「身震い」する。

今年の総選挙に際して、自民党は「日本維新の会」と「連立政権合意書」を交わした。「ついでこの前」の話である。

それから何か月経つたのだろうか。「連立政権合意書」にあるように「国家情報会議創設」(「スパイ防止法」を施行する組織)、「5類型」撤廃、「防衛力の抜本的強化」、「日本国国章(国旗)損壊罪」と、文字通り立て続けに「国論を二分するような大胆な政策」を国会での論議もそこそこに済ませて強引に押し通そうとしているのだ。

われわれ労働者と労働組合の未来のために、こんな暴挙を絶対に許してはならない。

(文責：幹事N)